2026年3月15日　第50回コミュニケーションセミナー案内

主催：コミセミ準備委員会

今回のコミセミは、平成19年のスタートから数えて第50回を迎えます。
特に、これからの臨床を担う若手卒業生の皆さんに、ぜひ参加していただきたいと考えています。
毎年3月に開催される「コミセミ」は、卒業生による日々の臨床報告と、在校生の発表を中心とした学びの場です。
今年は、在校生3題、卒業生4題の発表を予定しています。
本セミナーの特徴は、単なる聴講にとどまらず、発表や質疑を通じた双方向のコミュニケーションにあります。臨床の現場で感じている悩みや工夫を共有し、互いに刺激を受けながら、実践的な学びを深めていく場です。
臨床の原点に立ち返り、自身の姿勢や患者対応を見つめ直す貴重な機会となるでしょう。
近年、オンラインで学ぶ機会が増える一方で、顔を合わせ、同じ空間で語り合う「リアルなコミュニティ」の価値は、むしろ高まっていると感じています。
経験年数や立場を超えて集い、つながり、学び合う――それこそがコミセミの原点です。
また本セミナーは、参加者一人ひとりが社会性を高め、視点を広げ、自己評価を正確に行い、次のスキルアップへとつなげることを目的としています。
手技や流行に偏るのではなく、「聞く」「視る」「触れる」「評価する」「記録する」
といった臨床の基本を丁寧に積み重ねることの大切さを、改めて確認する場にしたいと考えています。
記念すべき第50回のコミセミが、これまで参加してくださった卒業生にとっても、そしてこれから歩み始める若い世代にとっても、実りある時間となることを願っています。

[日時] 2026年3月15日（日）10:00～12:15
[場所] 米田柔整専門学校3F講堂
[演者、内容]

在校生（3年生）

1 前十字靭帯断裂に伴う周囲軟組織の観察　岡本恵汰
2 高校女子バスケットボール部における股関節前捻角の測定と現場活用　御宿世理香
3 肘関節の外側不安定性を呈する一症例　小山空楽

卒業生

4 サボってる筋肉を呼び起こせ！ ～動作を見てピンポイント施術による症状改善～
中野真聖（61A　小林整骨院）
5 保存治療では改善できず非観血的授動術に至った肩関節拘縮症例のリハビリテーションの経過について
篠原由一（62A　服部整形外科）
6 足関節捻挫症例に対する当院の取り組み　～再発予防・パフォーマンスupに向けて～
春日部知大（59E　森ファミリー接骨院）
7 パーソナルトレーニングと予防医療の架け橋　青山由裕（46S　青山接骨院）

[参加費用]　500円
[参加対象]　米田柔整専門学校　卒業生

※稀ではありますが「申し込んだのに受付がされていない」ということが起こっております。その場合、お手元に送られている自動返信メールを紙または画面にて確認させていただく場合がございますので、印刷してお持ちいただくか、画面にて確認するために削除しないようお願いいたします。

※自動返信メールが届かない場合は学校までご連絡ください。

※受講票は送付しませんのでそのままご来場ください。

※公共交通機関でお越しください。 お車でお越しの際は学校周辺のコインパーキングを利用してください。

※キャンセルの場合は早めにご連絡ください。
（キャンセルの場合もフォームをご利用ください）

※当日体調のすぐれない方は参加を控えていただくようお願いいたします。